

日時 平成27年8月26日
午後7時～9時
場所 加納地域まちづくりセンター



加	納	地	区	
ま	ち	づ	く	り
ふ	れ	あ	い	
ト	ー	ク		



コンビニ交付の実施に向けて

コンビニ交付サービスの検討に至った背景

- 平成27年度中に交付機とサーバーの更新が必要となる
- 住民ニーズの高まり
 - ・サービス拠点拡大の要望
- 行政サービスに対するニーズの多様化
 - ・銀行ATMの夜間休日利用、コンビニATMの定着
- 行政手続きの簡素化
 - ・申請手続きの簡素化への要望



コンビニ交付サービス実施による課題解決

導入効果① 発行拠点数の拡大

コンビニ交付サービスの最大の特徴は、
証明書交付拠点数が格段にふえます。



全国約46,000店舗



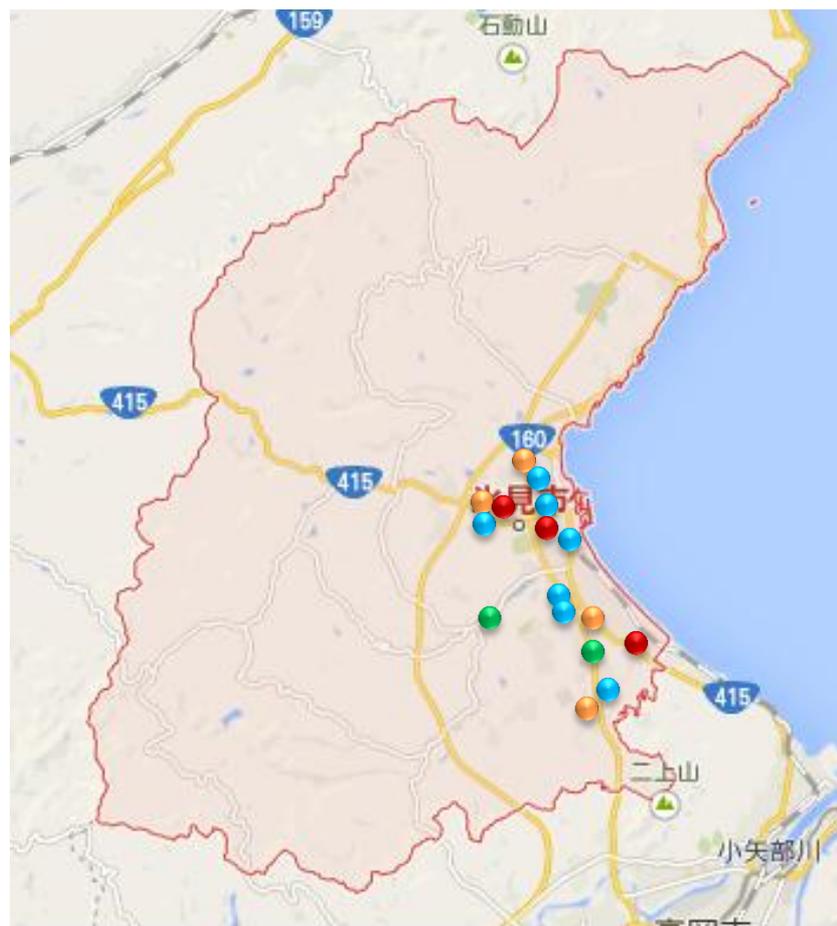
北陸三県約1,300店舗



富山県内約460店舗

導入効果① 発行拠点数の拡大

氷見市内のコンビニは合計16店舗
証明書を取得できる場所が大幅に拡大



- セブンイレブン (4店舗)
- ローソン (7店舗)
- ファミリーマート (2店舗)
- サークルKサンクス (3店舗)

導入効果② サービス提供時間の拡大

コンビニ交付サービス実施により
さらに提供時間を拡大します。

現在の氷見市証明書交付提供時間

	平日	土日・祝日
市民課窓口	08:30-17:15	-
証明書自動交付機	09:00-19:00	08:30-17:00

コンビニ交付サービス導入後の証明書交付提供時間

	平日	土日・祝日
市民課窓口	08:30-17:15	-
全国各コンビニ店舗	06:30-23:00	06:30-23:00

導入効果③ 戸籍証明書の対応

将来的には住民の証明書取得の機会は減るが、印鑑証明や戸籍証明は必要

老齢厚生年金の加給年金額の加算に関する手続

現状

住民票や所得証明書等の添付書類に基づき審査。

今後

住民票や所得証明書の添付書類の省略が可能。

児童扶養手当の認定申請

現状

住民票、所得証明書等に基づき審査。年金受給情報は、年金保険者に照会。

今後

住民票、所得証明書の添付を省略し、必要に応じて所得情報等は他市町村に照会。

SUZUKA

SUZUKA

SUZUKA

SUZUKA

さあ、

コンビニで証明書を
取ってみましょう♪



SUZUKA

SUZUKA

SUZUKA

SUZUKA

- 1 開会
- 2 市長あいさつ
- 3 出席者紹介
- 4 昨年のふれあいトーク報告
- 5 地区の事業概要
- 6 質疑応答
- 7 地方創生について
- 8 意見交換会
- 9 閉会あいさつ

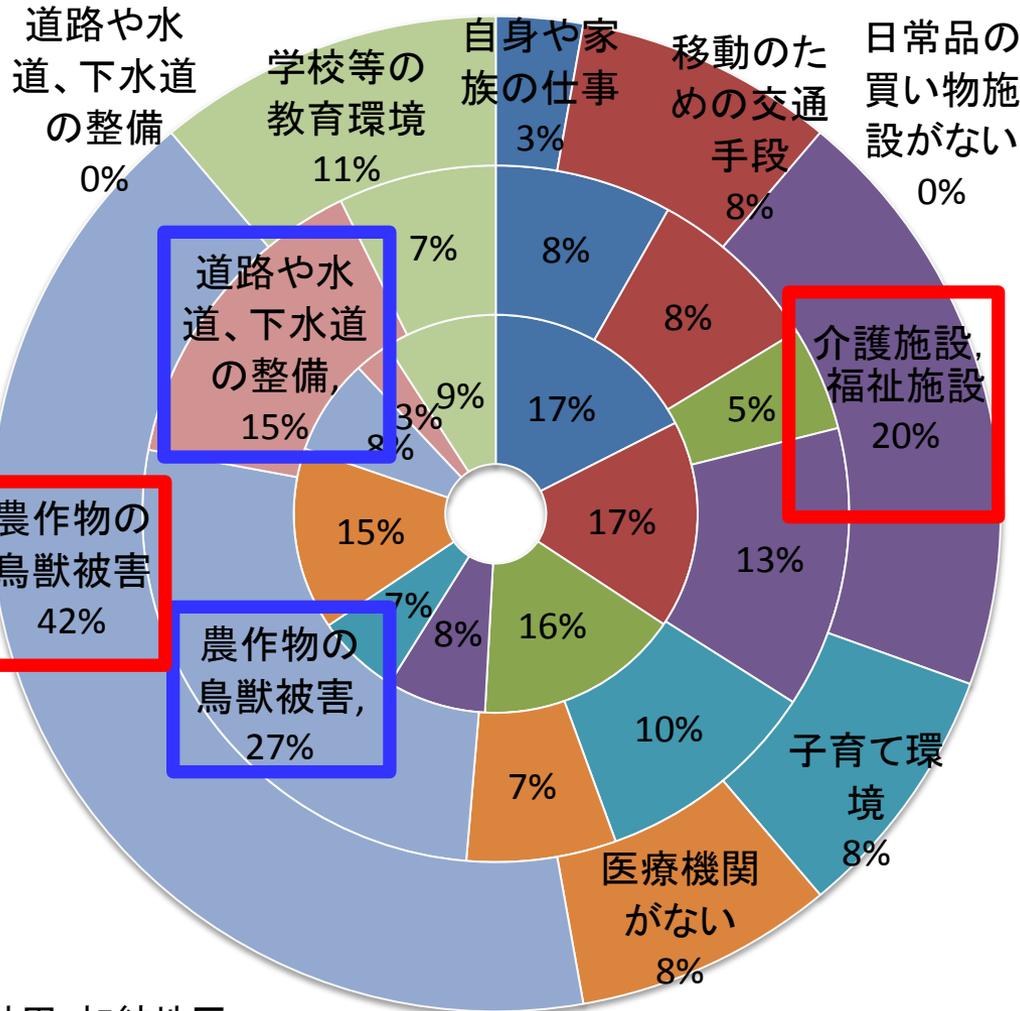
市長あいさつ

役職	氏名	所管部署等
氷見市長	本川祐治郎	
教育長	山本 晶	教育委員会
市長政策・都市経営 戦略部長	高橋 正明	秘書・市民情報課 地方創生と自治への未来対話推進課 芸術文化マネジメント室 スポーツ文化マネジメント室 地域防災室
地方創生政策監	宮本 祐輔	地方創生総合戦略策定や氷見市人口ビジョンに関すること
建設農林水産部長	福嶋 雅範	建設課 上下水道課 農林畜産課 いのしし等鳥獣害対策室 水産振興課
教育次長	草山 利彦	教育総務課 学校教育課 教育総合センター 図書館 博物館
地域担当職員	川上 隆史	(所属) 財務課
地域担当職員	吉崎 聡美	(所属) 商工観光・マーケティング・おもてなしブランド課
地域担当職員	遠藤 優子	(所属) 地域防災室

昨年のふれあいトーク報告

困り事 日々の生活の中で、不便なことや不安に思ったこと、困ったことはありませんか？

関心事 ふれあいトークではどの項目に関心をお持ちですか？



地域の将来構想、少子化

地域の交通対策指導etc

地域づくり策定計画について、これまで極点の整備を中心に考えてきたが、本日参考になりました。

外円:加納地区
 中円:氷見市全体
 内円:全国農漁村調査結果

対応済

- 801-鞍川霊峰線の完成（継続）
- 802,803-鞍川沖布線の長さ、道路幅、除雪、速度制限（継続）
- 804-地域づくり協議会の財源
- 806-新幹線開業後の高岡への移動
- 809-比美乃江小横の県道が心配（継続）
- 811-寿養荘の存続（継続）

27年度内

- 805-出合いの場づくり
- 807-地域での子育て
- 808-地域の将来構想
- 812-つながりの希薄化
- 25/1090-鞍川10号線の水路

可能

28年度以降

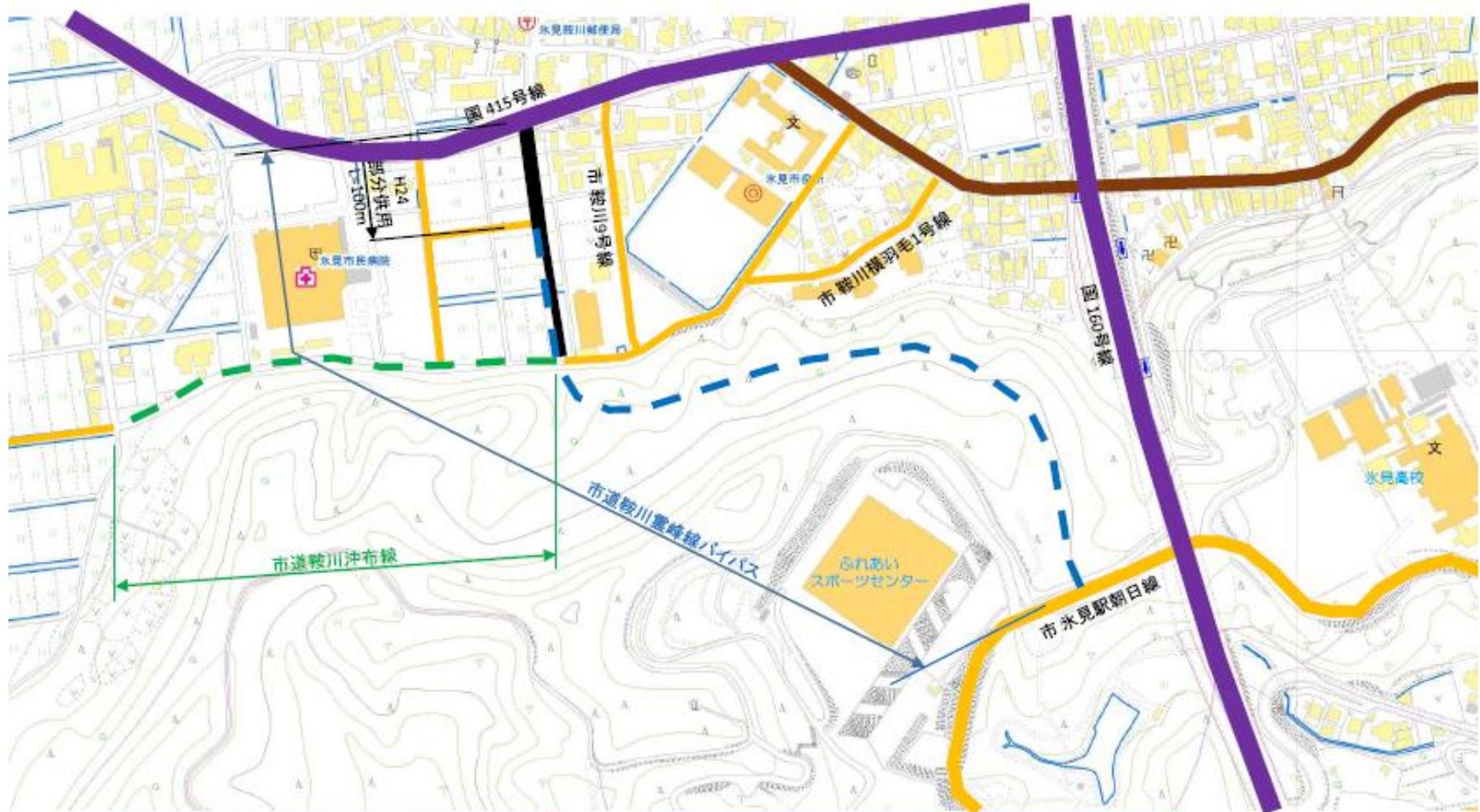
国・県等市以外の事業

- 810-負担の少ない整備
- 25/1085-2 上庄川の堤防

未定

参考意見

市道鞍川霊峰線バイパス 位置図
市道鞍川沖布線



鞍川沖布線

全体延長 L=430m
計画幅員 B=7.0m(現況5.1m)
完成予定 平成30年度

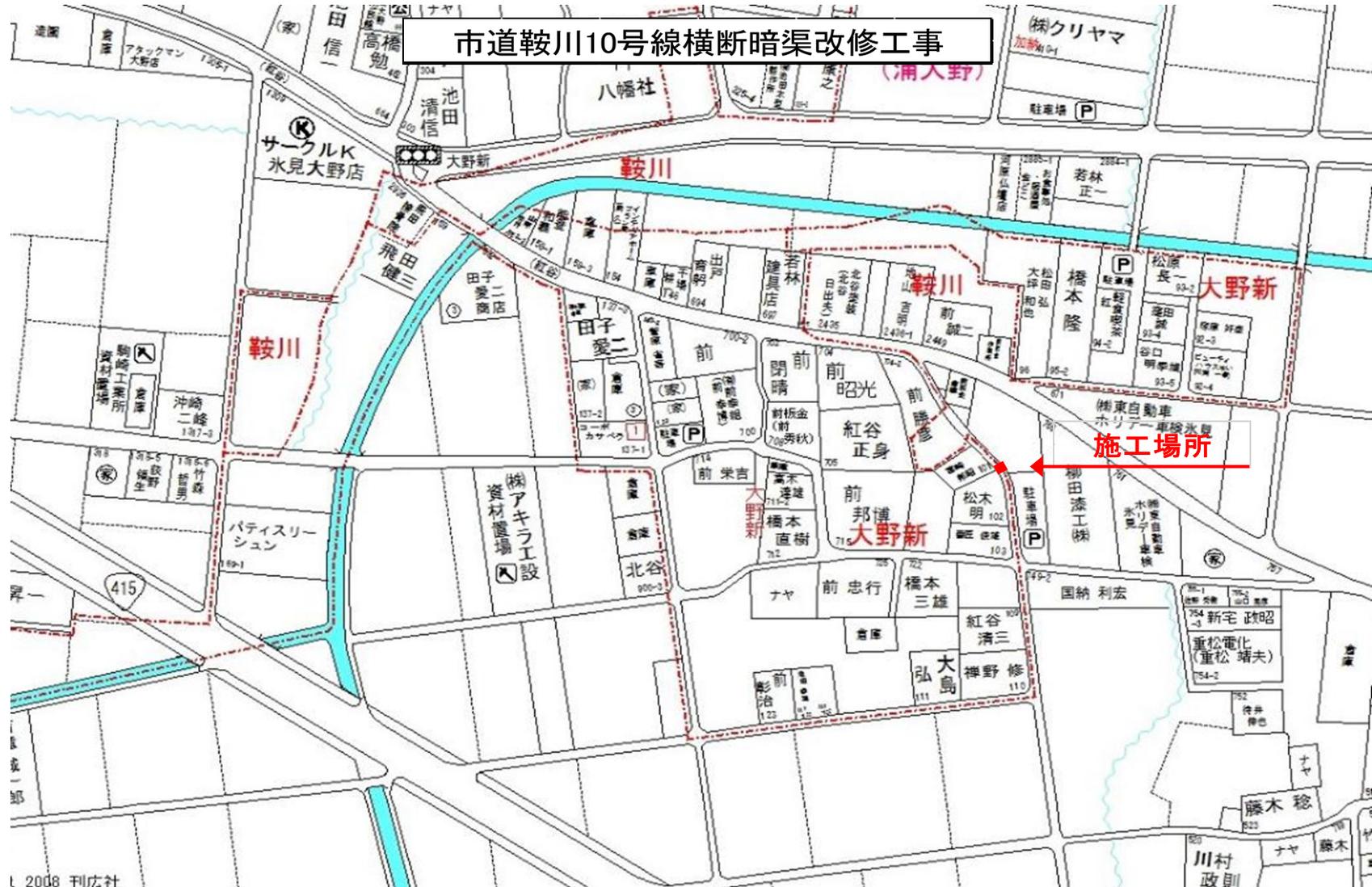
鞍川霊峰線バイパス

全体延長 L=930m(内、L=100m供用済み)
計画幅員 B=9.75m
完成予定 平成30年度

加納地区事業概要

実施年度	工事名	工事場所	契約(予定)日	完成(予定)日	契約金額または予算額
H27	公共等関連汚水柵設置(その2)工事	加納	H27.5.14	H27.5.29	1,274,400
H27	公共汚水柵設置(その7)工事	鞍川	H27.6.23	H27.7.17	237,600
H27	市道鞍川10号線横断暗渠改修工事	大野新	10月予定		700,000
H27	市道鞍川霊峰線バイパス整備事業	鞍川	継続事業		37,170,000
H27	市道鞍川沖布線道路改良事業	鞍川	継続事業		847,000
				H27計	40,229,000

市道鞍川10号線横断暗渠改修工事



実施年度	実施事業名	具体的な内容及び箇所	補助金等金額 または予算額	担当課	備考
H27	健康ウォーキング	地区一般住民を対象としたウォーキング教室を実施(10月頃)	5,000	健康課	
H27	健康教室	地域の健康づくりの意識を高め実践に結びつけることを目的に講義、実践を行なう。(6月28日)	14,000	健康課	
H27	介護予防事業 高齢者レクリエーション教室	高齢者を対象にレクリエーション教室を実施することで、閉じこもりや要介護状態になることを予防する。(9月23日、2月24日)	2,100	健康課	
H27	介護予防事業 高齢者元気ハツラツ教室	高齢者がいきいきと自立して生活できるように、食生活改善に関する知識の普及を図る。(6月24日)	3,000	健康課	
H27	健診PR活動(旗立て)	受診勧奨のため、地区内に健診PRの旗をたてる。(7月～9月)	2,000	健康課	
H27	子育て広場	地域の保育園を会場に年1回、未就園児とその家族を対象に健康教室を行い、家族ぐるみで健康づくりの実践ができるように働きかける。(6月10日)	2,000	健康課	
H27	らくらくメニュー講座	乳幼児とその保護者を対象に教室を開催し、食習慣の改善を図る(10月27日)	7,000	健康課	

実施年度	実施事業名	具体的な内容及び箇所	補助金等金額 または予算額	担当課	備考
H27	交通安全施設整備事業	加納 道路反射鏡 1基	141,000	建設課	
H27	交通安全施設修繕事業	加納 環状北線区画線修繕 1式	831,600	建設課	
H27	交通安全施設修繕事業	加納 交差点ドットライン 1箇所	21,600	建設課	
H27	多面的機能支払交付金	農地保全活動(草刈り・泥上げ等) 農村環境保全活動(花壇の造成等) へ支援 鞍川(2,913,512円)、加納(7,787,772円) ※大野新、諏訪野の農地を含めて活動	10,701,284	農林畜産課	
H27	氷見市有害鳥獣被害防止対策補助金	金網柵 加納 1件	740,000	いのしし等鳥獣害対策室	
		H27計	12,470,584		

質疑応答

地方創生について

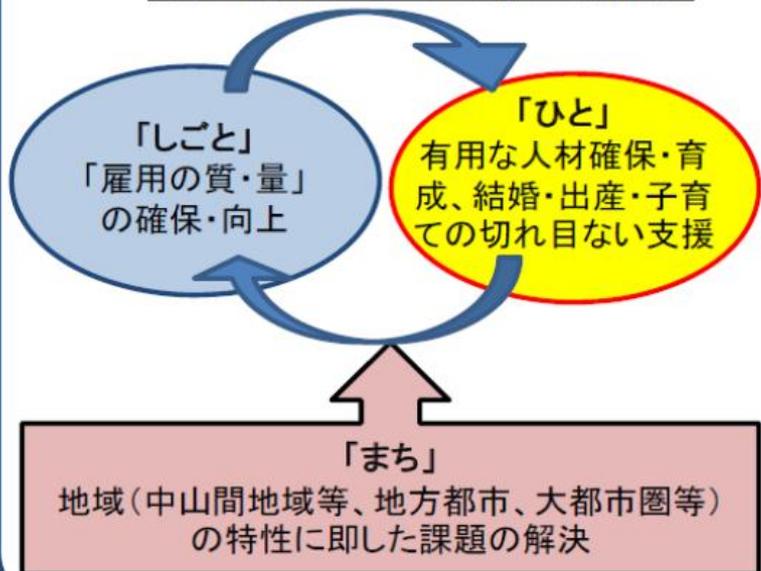
まち・ひと・しごと創生に関する基本的考え方

【基本的考え方】

【基本的視点】

- ①東京一極集中の歯止め
- ②若い世代の就労・結婚・子育ての希望実現
- ③地域の特性に即して課題解決

「しごと」と「ひと」の好循環、
それを支える「まち」の活性化



【過去の政策検証】

- 「縦割り」構造
 - ・政策手法が似通い、施策の重複や小粒な事業の乱立
- 「全国一律の手法」
 - ・使用目的が縛られ、地域特性や主体性が考量されない
- 「パラマキ」
 - ・客観的な成果検証と運用の見直しメカニズムが不足
- 「表面的な」取組
 - ・対症療法的施策は構造的問題への対処に改善の余地
- 「短期的」な成果
 - ・短期間で変更・廃止を繰り返す施策が多い

【政策5原則】

- 自立性 地方自治体・民間事業者・個人等の自立につながる
- 将来性 地方が自主的かつ主体的に、夢を持って前向きに取り組むことを支援
- 地域性 各地域は地方版総合戦略を策定、国は利用者の側から人的側面を含めた支援を実施
- 直接性 ひと・しごとの移転・創出やまちづくりを直接的に支援する施策を集中的に実施
- 結果重視 短期・中長期の数値目標を設定し、政策効果を客観的な指標により検証、改善

「地方人口ビジョン」・「地方版総合戦略」の意義 —人口減少時代の新たな行政革新—

「地方人口ビジョン」及び「地方版総合戦略」の策定プロセス

1. 地域の現状・将来に関するデータ分析—「分析企画」

- ・客観的データに基づく戦略策定
 - ・行政と地域住民の意識共有
- 「地方人口ビジョン」
「地域経済分析システム(RESAS)」

2. 「積極戦略」と「調整戦略」の同時対応—「複眼思考」

- ・「積極戦略」:人口減少の歯止めのための戦略(人口流出防止、出生率向上)
- ・「調整戦略」:人口減少に即した戦略(効果的・効率的な行政・まちづくり)

3. 地域の「産官学金労言」の参画—「調整結集」

- ・政策の「縦割り」を排除して、各分野の政策・事業・人材を結集
- ・幅広い各層(女性や若者、外部人材も)の意見汲み上げ、産業・学界・金融・労働・マスコミの参画
- ・「縦割り」の排除⇒各分野の政策・事業の「組み合わせ」

4. 「数値目標」の設定と5か年の「PDCAサイクル」の徹底—「成果重視」

- ・5年先の「数値目標(成果目標)」設定。その後、毎年効果検証、的確な政策見直し
- ・「予算重視」から「決算・成果重視」へ

5. 市町村間の連携—「広域連携」

- ・広域圏などで複数市町村が総合戦略を共同作成
- ・個別事業(広域観光、都市農村交流など)での市町村連携

<地方人口ビジョン>

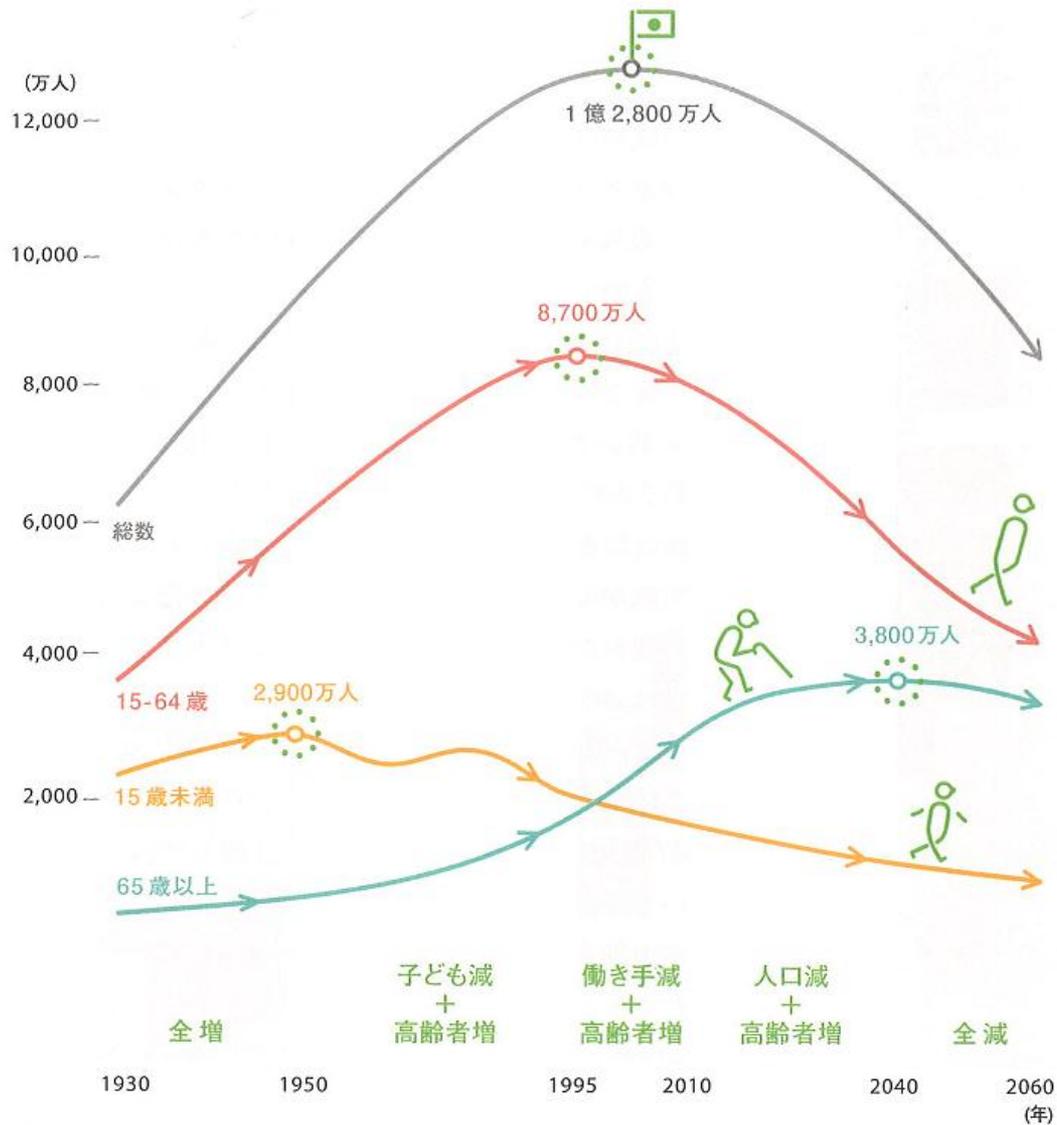
- 人口の現状分析
- 人口の将来展望

<地方版総合戦略>

- 基本目標(成果目標)
- KPI(重要業績評価指標)

- 各分野の施策

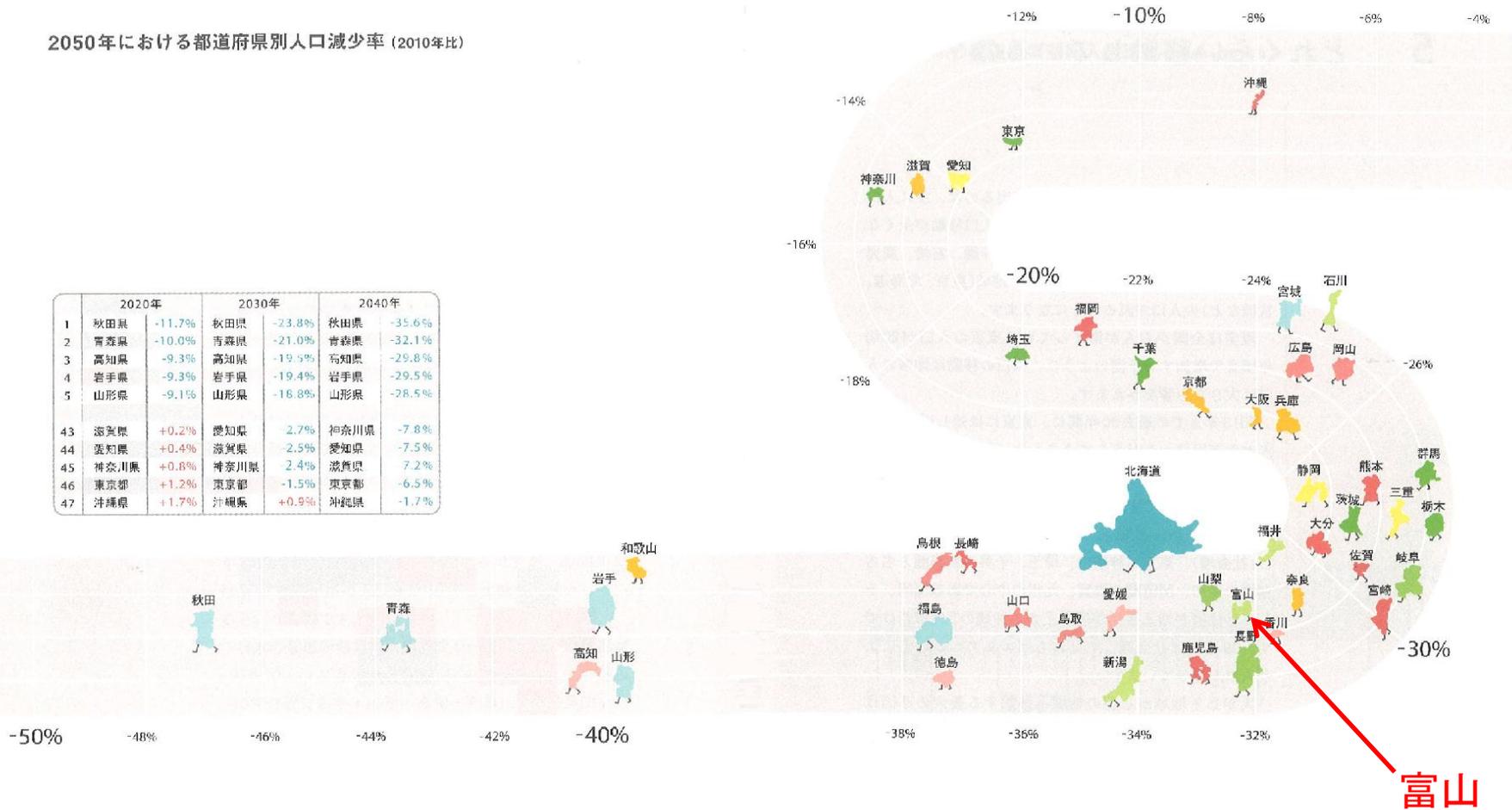
3区分年代別人口の推移 (2012年1月推計)



出典：人口減少×デザイン 著 筧 裕介

2050年における都道府県別人口減少率 (2010年比)

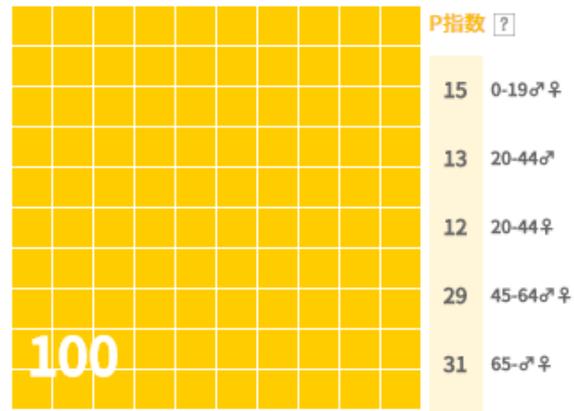
	2020年		2030年		2040年	
1	秋田県	-11.7%	秋田県	-23.8%	秋田県	-35.0%
2	青森県	-10.0%	青森県	-21.0%	青森県	-32.1%
3	高知県	-9.3%	高知県	-19.5%	高知県	-29.8%
4	岩手県	-9.3%	岩手県	-19.4%	岩手県	-29.5%
5	山形県	-9.1%	山形県	-18.8%	山形県	-28.5%
43	滋賀県	+0.2%	徳島県	2.7%	神奈川県	-7.8%
44	愛知県	+0.4%	滋賀県	-2.5%	愛知県	-7.5%
45	神奈川県	+0.8%	神奈川県	2.4%	滋賀県	7.2%
46	東京都	+1.2%	東京都	-1.5%	東京都	-6.5%
47	沖縄県	+1.7%	沖縄県	+0.9%	沖縄県	-1.7%



人口減少 × デザイン 富山県 氷見市

地域と日本の大問題を、データとデザイン思考で考える。

2010



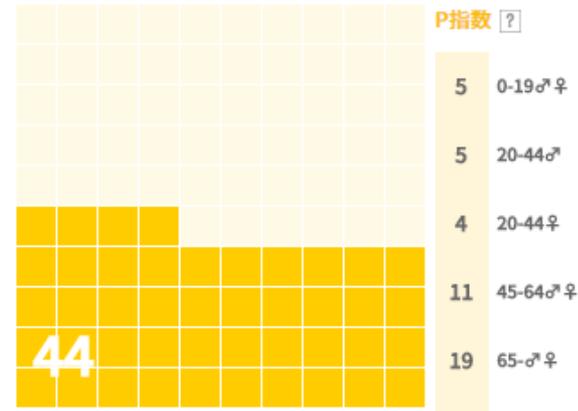
合計 約51,000人

+

なんの対策も
行わない

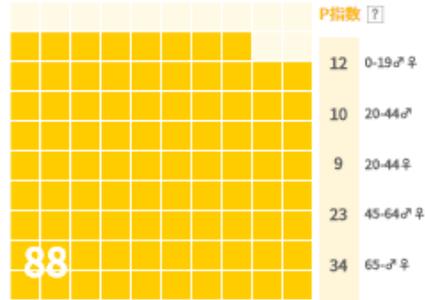
=

2060



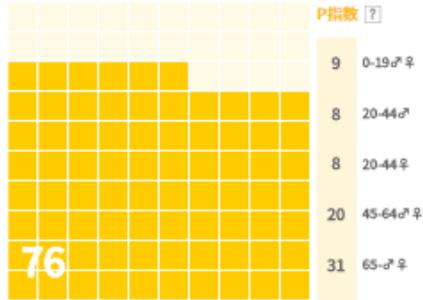
合計 約23,000人

2020



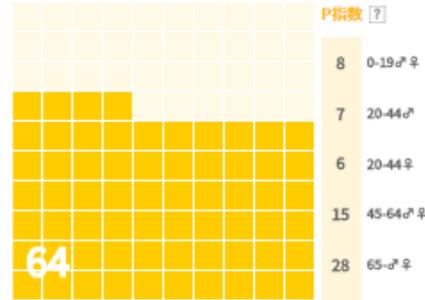
合計 約45,000人

2030



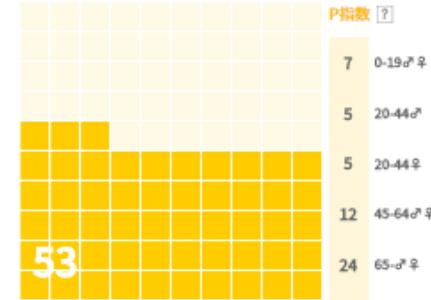
合計 約39,000人

2040



合計 約33,000人

2050

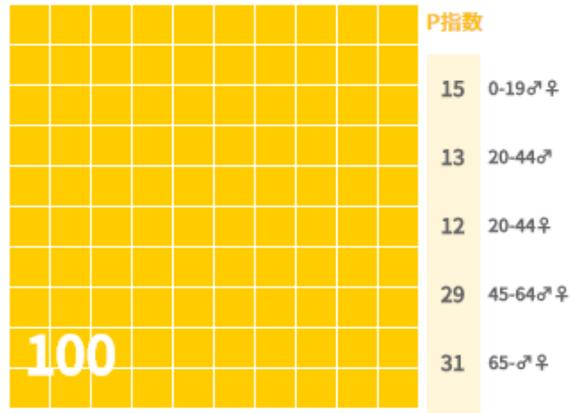


合計 約27,000人

人口減少 × デザイン 富山県 氷見市

地域と日本の大問題を、データとデザイン思考で考える。

2010



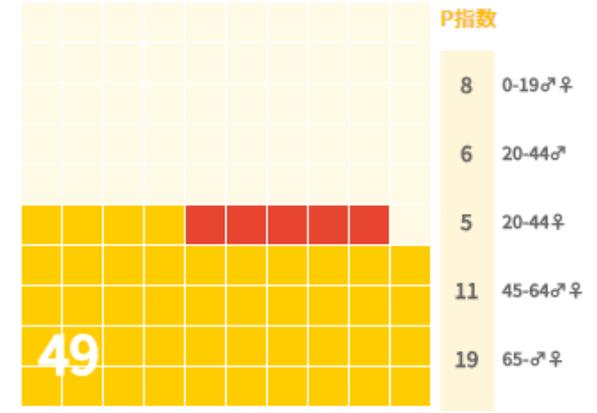
合計 約51,000人

人口減少対策

合計特殊出生率
1.37 → **1.80**



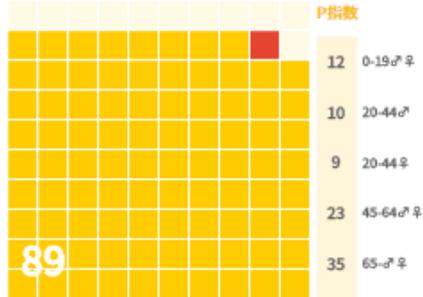
2060



合計 約23,000人 → 25,000人

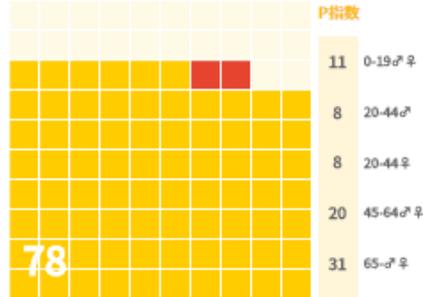
2014年実績値より
合計特殊出生率を1.37から**1.80へ伸ばす**
転入者数(20-49歳)613人のまま
転出者数(15-24歳)425人のまま

2020



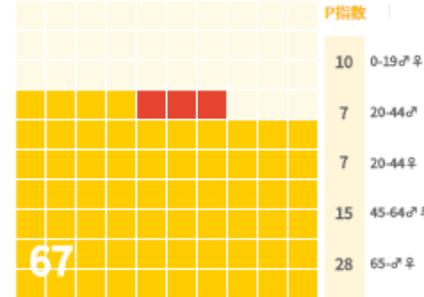
合計 約45,000人 → 45,000人

2030



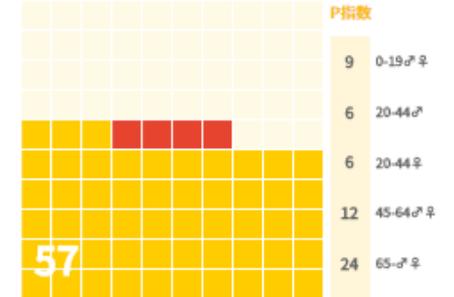
合計 約39,000人 → 40,000人

2040



合計 約33,000人 → 34,000人

2050

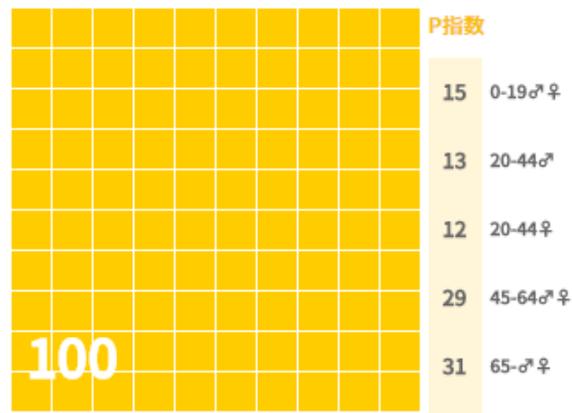


合計 約27,000人 → 29,000人

人口減少 × デザイン 富山県 氷見市

地域と日本の大問題を、データとデザイン思考で考える。

2010



合計 約51,000人

人口減少対策

合計特殊出生率を

1.37

にする

転入者数 (年間)

102人増やす

増やす

転出者数 (年間) を

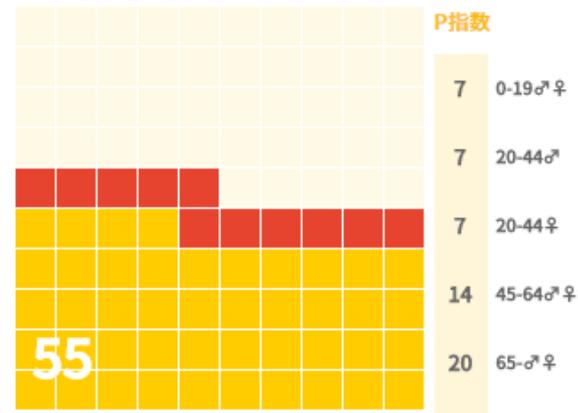
0人

減らす

+

=

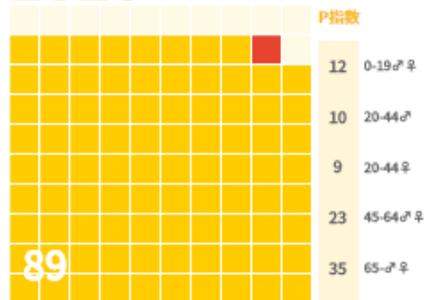
2060



合計 約23,000人 → 28,000人

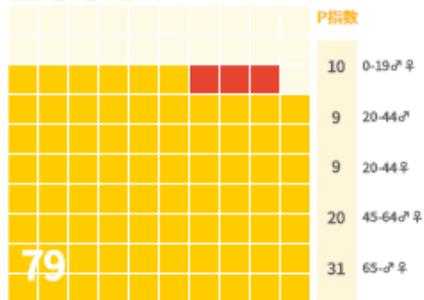
2014年実績値より
合計特殊出生率を1.37のまま
転入者数(20-49歳) **613人 → 715に増やす**
転出者数(15-24歳) 425人のまま

2020



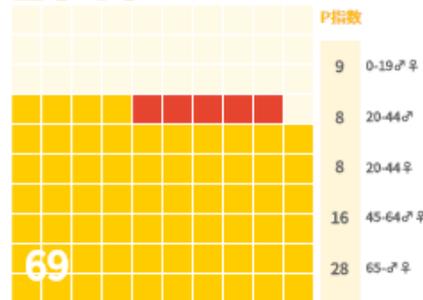
合計 約45,000人 → 46,000人

2030



合計 約39,000人 → 40,000人

2040



合計 約33,000人 → 36,000人

2050

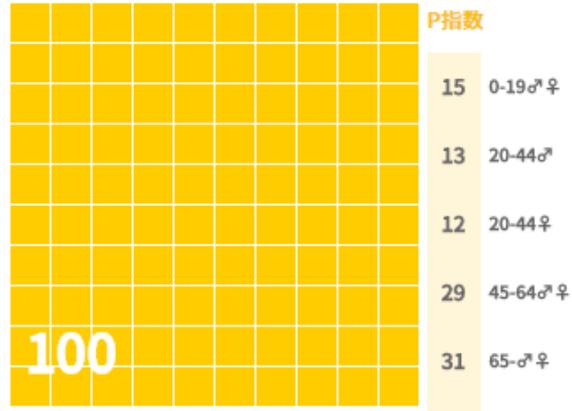


合計 約27,000人 → 31,000人

人口減少 × デザイン 富山県 氷見市

地域と日本の大問題を、データとデザイン思考で考える。

2010



合計約51,000人

人口減少対策

合計特殊出生率を

1.37

にする

転入者数(年間)を

0人

増やす

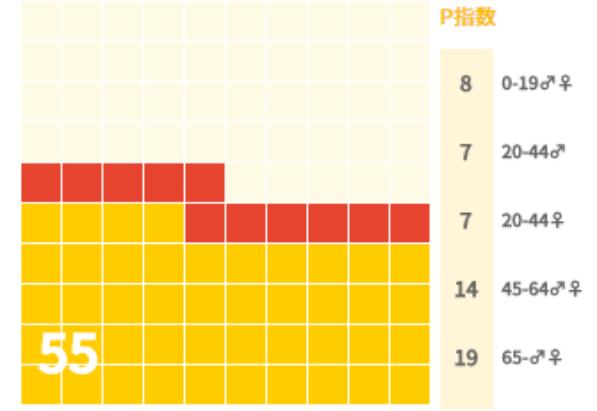
転出者数(年間)

100人減らす

減らす

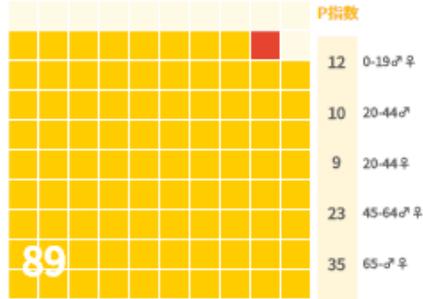
2014年実績値より
合計特殊出生率を1.37から1.80へ
転入者数(20-49歳)613人のまま
転出者数(15-24歳)425人→**325人まで減らす**

2060



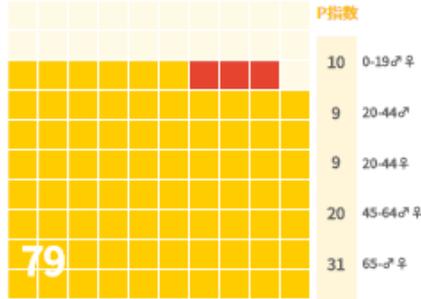
合計約23,000人 → 28,000人

2020



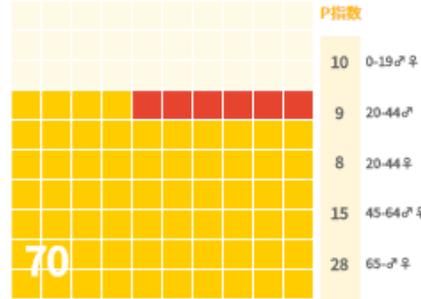
合計約45,000人 → 46,000人

2030



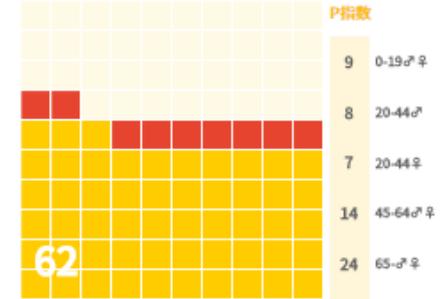
合計約39,000人 → 40,000人

2040



合計約33,000人 → 36,000人

2050

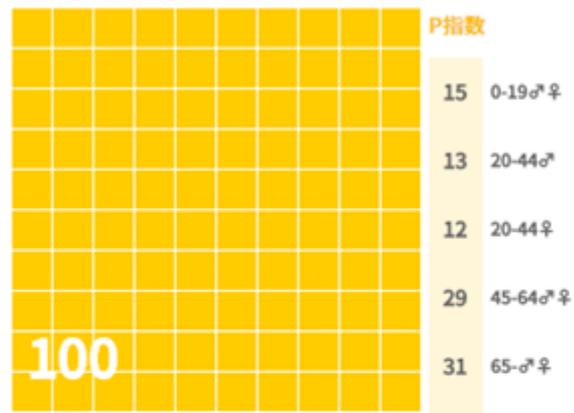


合計約27,000人 → 32,000人

人口減少 × デザイン 富山県 氷見市

地域と日本の大問題を、データとデザイン思考で考える。

2010



合計約51,000人

人口減少対策

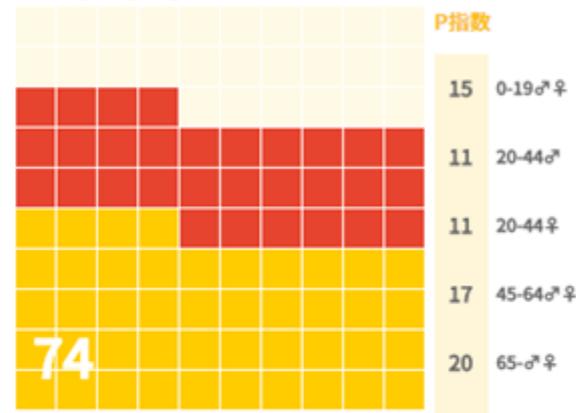
合計特殊出生率
1.37 → 1.80

転入者数（年間）
102人増やす

転出者数（年間）
100人減らす



2060



合計約23,000人 → 38,000人

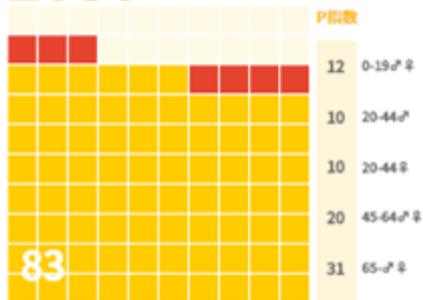
2014年実績値より
合計特殊出生率を1.37から**1.80へ伸ばす**
転入者数（20-49歳）**613人→715に増やす**
転出者数（15-24歳）**425人→325人まで減らす**

2020



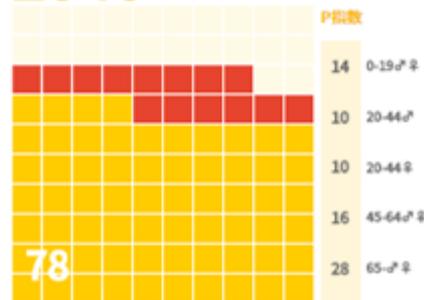
合計約45,000人 → 46,000人

2030



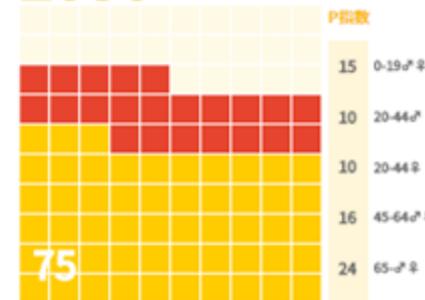
合計約39,000人 → 42,000人

2040



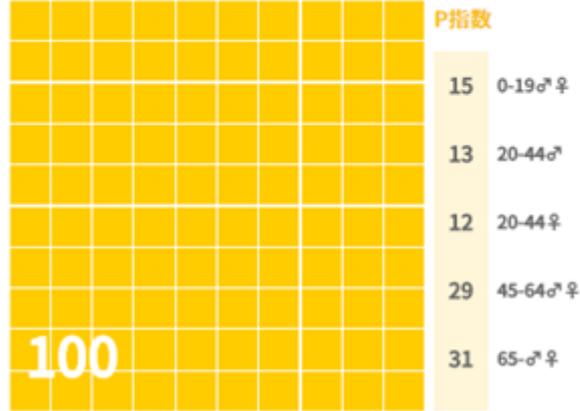
合計約33,000人 → 40,000人

2050



合計約27,000人 → 38,000人

2010



合計約51,000人

人口減少対策

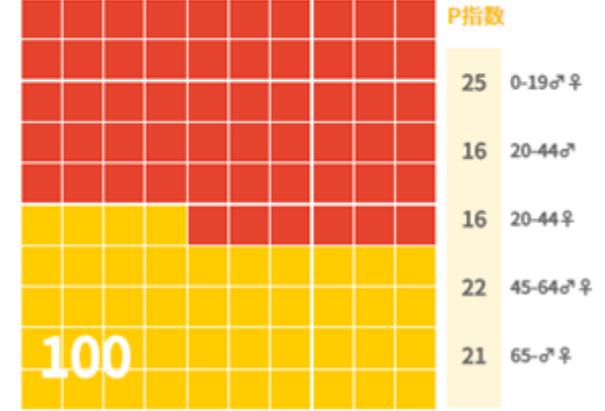
合計特殊出生率
1.37 → 2.10

転入者数 (年間)
180人増やす

転出者数 (年間)
180人減らす



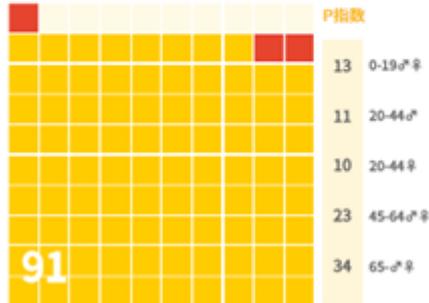
2060



合計約23,000人 → 51,000人

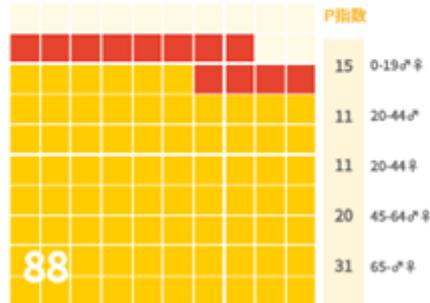
2014年実績値より
合計特殊出生率を1.37から**2.10**へ伸ばす
転入者数 (20-49歳) **613人**→**793人**に増やす
転出者数 (15-24歳) **425人**→**605人**まで減らす

2020



合計約45,000人 → 47,000人

2030



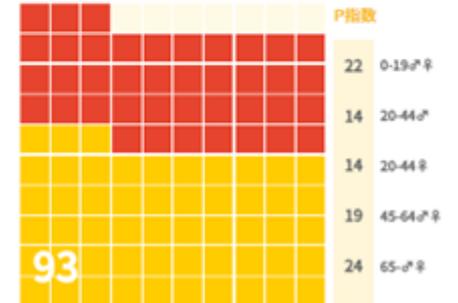
合計約39,000人 → 45,000人

2040



合計約33,000人 → 46,000人

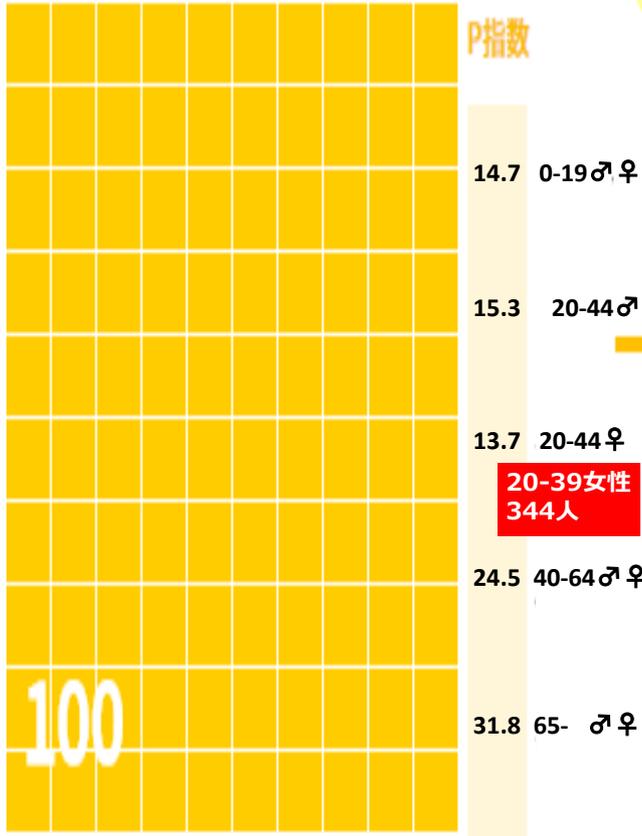
2050



合計約27,000人 → 48,000人

加納 地区 人口 3, 4 3 6 人

2010



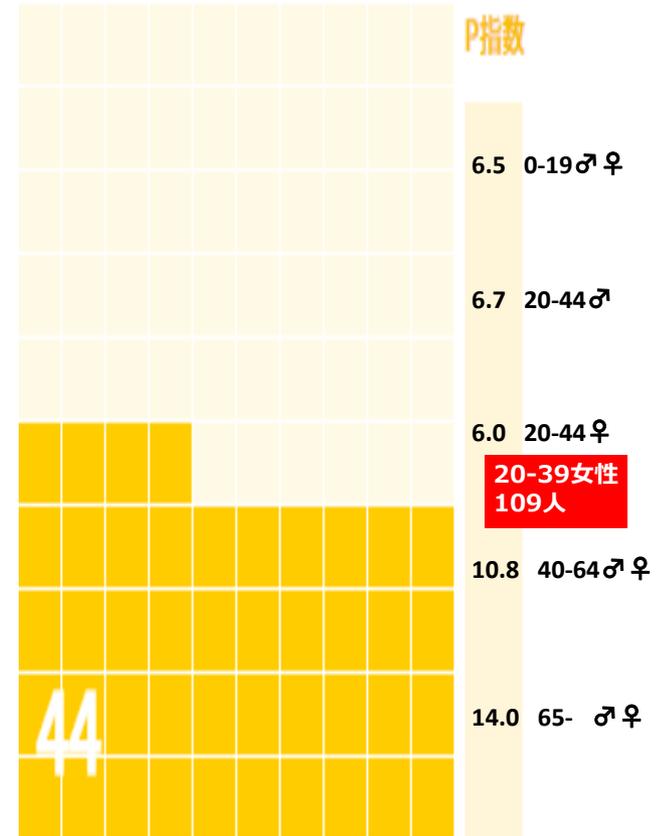
100

+

なんの対策も
行わない

=

2060

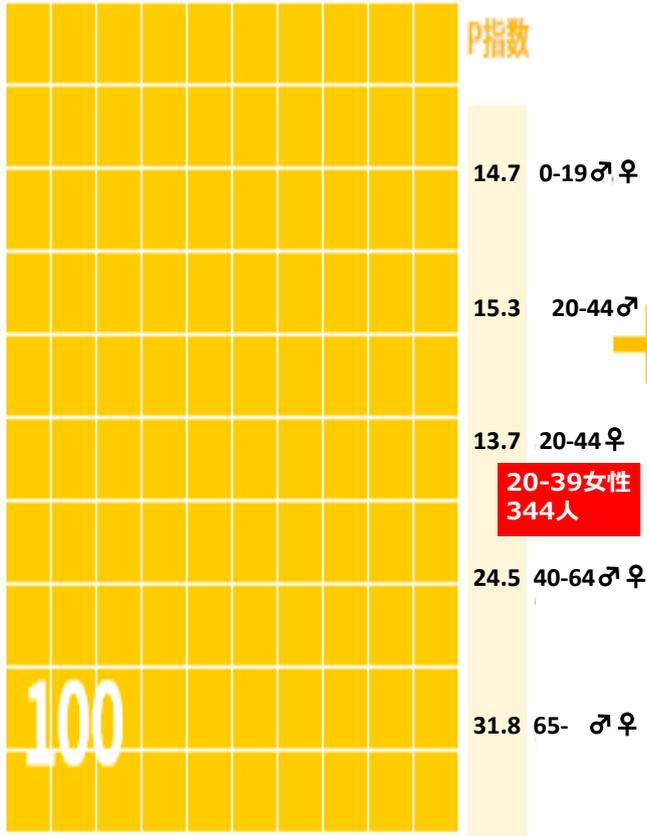


44

加納 地区 人口 1, 1 5 1 人(推計)

加納地区 人口3,436人

2010

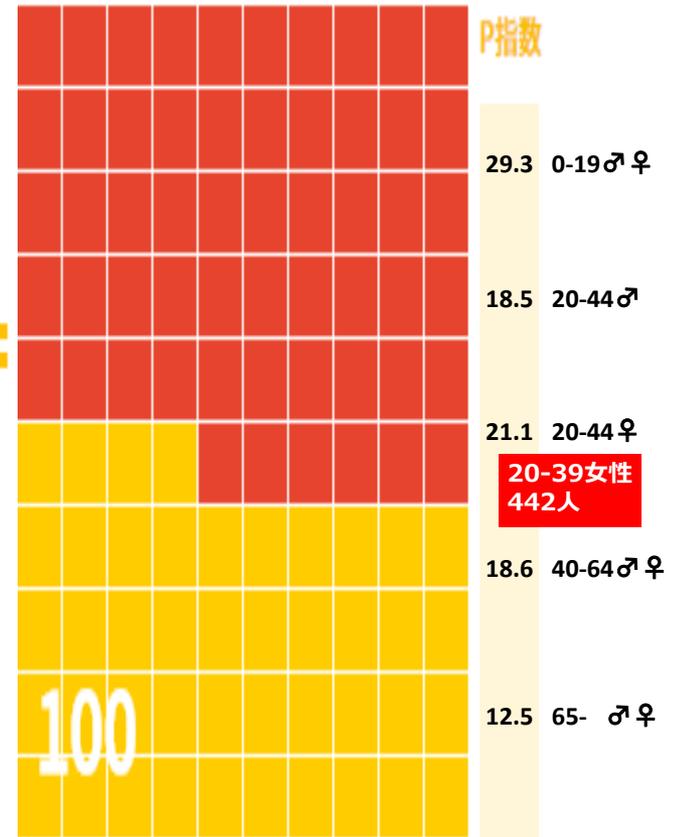


合計特殊出生率
2.1とする

年間転入者数(20-49歳)
12.1人増やす

年間転出者数(15-24歳)
12.1人減らす

2060



加納地区 人口3,436人

地方創生に向けて、皆さんの知恵やご意見を！ 井戸端会議をしてみよう！

- ① 4～5人でグループをつくります。
- ② 各グループに市職員が入り、皆さまのご意見を記録します。
- ③ いただいたご意見は全体で共有します。

A 地域拠点施設（加納コミュニティセンター）
の利活用について

B 加納地区の自己財源確保について

意見交換

加納地区代表